

## 「言語と文化と人」 1

### 外国語を身につけることはむずかしいか

日本では、中学校・高校の6年間あるいはそれ以上英語を勉強します。しかし、なかなか英語を使えるようになりません。ですから、多くの日本人は、外国語を身につけることはむずかしいと思っています。しかし、それは本当でしょうか。

英語やその他のヨーロッパの言語では、「外国語」つまり「外国の言語」という言い方はしません。「foreign language」と言います。「foreign language」というのは「聞いてもわからない言語」つまり「異言語」ということです。そして、実を言うと、ヨーロッパでは、近くの言語を「foreign language」とは言いません。むしろ、古いギリシャ語やラテン語などの古典語と対比して、現代語（modern languages）と呼んで、その現代語の中にフランス語やスペイン語やドイツ語や英語などがあると見ます。ロシア語やウクライナ語やポーランド語などは、現代語とは区別してスラブ語系言語（Slavic languages）と呼ばれます。いずれにせよ、ヨーロッパ内では、お互いの言語を異言語とはあまり見ていません。そして、実際にも、ヨーロッパの人にとって、お隣の言語を身につけることはむずかしいことではありません。たいてい、1・2年勉強すればかなり使えるようになります。

そんな欧米の人にとって、日本語は異言語です。逆に、日本人にとっては、英語は異言語です。ヨーロッパの人とはときどき「日本語、中国語、韓国語、アラビア語は真の異言語（truly foreign language）だ」と言います。

異言語というのは、わかりやすく言うと、単語についても文法についても文字についても自分の言語との重なりがほとんどない言語です。そして、そんな異言語を身につけることはとてもむずかしいです。しかし、上で言ったように、ヨーロッパの人にとってお隣の言語は異言語ではありません。ですから、その習得はやさしいです。こうした考え方からすると、中国語使用者が日本語を学ぶのは異言語学習とはあまり言えません。中国語と日本語ではともに漢字を使っているので、「重なりがほとんどない言語」ではないからです。日本人が中国語を学ぶ場合も同じです。

最初の質問にもどります。外国語を身につけることはむずかしいでしょうか。答えは「むずかしい場合もあるし、やさしい場合もある」です。簡単に言うと、「近い」言語は身につけるのがやさしい、「遠い」言語は身につけるのがむずかしいです。欧米の人にとっての日本語や、日本人にとっての英語は「遠い」言語です。ですから、それを身につけるのは確かにむずかしいです。

(1000字)

(2020.12 Written by Koichi NISHIGUCHI)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.